

T-ファイルで紡ぐ自己の成長と未来のキャリア

豊田工業高等専門学校長 阿波賀 邦夫

皆さん、ポートフォリオって知っていますか？これは、分野によって意味が異なりますが、学習におけるポートフォリオは、学習者が自身の成果や成長過程を記録したもので、学習の過程を可視化することにより、知識やスキルの向上を実感しやすくなり、自己評価や今後の目標設定にも役立ちます。具体的に言うと、ポートフォリオを通じて学習者は、過去の取り組みや成果を振り返り、自身の進歩を目に見える形で確認できます。例えば、最初は理解できなかったテーマやスキルが、学習の進行に伴ってどのように向上したのかを具体的に把握できるため、自分がどれだけ成長したかを実感することができます。このプロセスにより、自信がつき、次の学びへの意欲が高まります。また、自分ができるようになったこと、まだ苦手な部分、今後の課題などを明確に認識することができ、自己評価をより客観的に行えるようになります。自己評価を通じて、次の学習目標を設定する際には、その時点での自分の強みや弱点を基に、具体的で達成可能な目標を立てやすくなります。これにより、単に「次はこれを学ぼう」といった漠然とした目標ではなく、自己成長に基づいた計画的な学習が進むことになります。

また、ポートフォリオは指導者にとっても非常に価値があります。試験やレポートは学習の成果を測る重要なツールですが、学習者の思考過程や問題解決のアプローチ、進行中の課題に対する取り組み方など、細かな成長の過程は必ずしも表面に現れません。ポートフォリオに記録された学習の過程を通じて、指導者は学習者の理解度をより深く把握でき、個別のフィードバックを提供することができます。これは、単に学習結果を評価するのではなく、学びのプロセス全体をサポートするための重要な情報源となります。

豊田高専では、パーソナルポートフォリオ（T-ファイル）を用いることで、キャリア教育支援プログラム資料を残し、キャリアを積んでいく過程を履歴化し、振り返ることによる「気づき」を通じてキャリア形成を促進しています。このように、学習の過程や成果を記録し、定期的に振り返ることは、学習者が自分のキャリアを意識的に育んでいくための強力な支援ツールとなり、学習者自身の成長を促すだけでなく、未来に向けた目標達成にもつながります。

さらにT-ファイルは、進学や就職の際には、自身の強みや専門性をアピールするためにも活用できます。皆さんが講義や実習を受講すると、その都度、A、B、Cなどの成績評価が下され、それを一人一人まとめたものが成績記録です。もちろん成績記録は重要ですが、講義・実習名とその成績が記載された記録だけでは、皆さんの真の能力を測ることは難しいでしょう。単なる成績評価よりも、皆さんが何に悩み、それをどのように克服しようと努力したのか、進学先の大学や就職先の企業はそこが知りたいはずです。つまりT-ファイルは、皆さんの成長を記録した履歴書であり、進学や就職の際には自分の成長をアピールすることに役立ちます。

T-ファイルは、単なる成績記録にとどまらず、学習者自身の成長過程を示す貴重なツールです。これを通じて、自己成長を実感し、未来のキャリアを切り広げてください。